

みんなで学ぶ森林の生物多様性

地域のもりから学ぶ森林づくり

第1回森林教室 大人版を定山溪国有林で開催しました

平成22年7月5日 豊平川源流部の国有林で、地域のもりから学ぶ森づくり「第1回森林教室 大人版」を開催しました。定山溪地域の方や札幌市民の方々50名が参加されました。

森林の生物多様性の紹介は、北海道大学の春木准教授や森林総合研究所などの専門家による講師陣が担当。



「定山溪の森林を造りましょう！」
内田計画部長の開会挨拶

今回のテーマ

空中と地上から森林の生物多様性を学ぶ



衛星写真や航空写真から様々な森林の様子が読み取れることを、わかりやすく説明
(板垣講師)

真剣に講師の話しに聞き入る参加者。
夏の太陽も参加して…さらに熱気を帯びる？



森林から土を作るミミズまで、幅広い話して参加者もビックリ！
定山溪の森林の歴史の話も感銘深い
(春木講師)



ようこそ 菌類の不思議な世界へ！
分解と再生、ミクロの世界が大きな森林を支えています。
キノコは、森林になくてはならないものです。
なんとと言っても「木の子」だけに。(山口講師)



自動撮影カメラで、森林に暮らす動物をチェック。何が写るか楽しみです。動作確認でパチリ！人間も森林に暮らす動物でしょうか？

(平川講師)

昆虫が教えてくれる森林の様子。
土場と森林では、昆虫の種類も数も違います。
この写真は森林で採取した昆虫です。
(上田講師)



北海道教育大学の並川先生と学生さんも参加してくれました。

定山溪の森林の多様性はさらに多様になりそうな嬉しい予感です。